

第1回 可児とうのう病院地域連絡協議会 議事概要

- 【日 時】 平成26年6月25日（水） 15時00分～16時00分
- 【場 所】 独立行政法人地域医療機能推進機構 可児とうのう病院 講義室（大）
- 【議 題】 1. 委員紹介、独立行政法人への移行等について
2. 自由討議
- 【出席者】 熊谷 豊一 （医師会／可児医師会長）
甲畑 俊郎 （行政・県／中濃保健所長）
富田 成輝 （行政・市／可児市長）
松下 弘樹 （利用者／自治会長）
平岩 豊司 （利用者／自治会副会長）
三宅 好彦 （利用者／自治会副会長）
岸田 喜彦 （院長）
山田 芳彰 （副院長）
鷺見 みどり （看護部長・代理）
奥村 明人 （事務部長）
尾石 紀之 （老健副施設長）

【概 要】

1. 委員紹介、独立行政法人への移行等について

（委員紹介／パワーポイントを使用し、移行の経緯、JCHOの理念・概要等について説明）

（医師会）

- ① お話の中に人材の育成という問題が出てきたと思います。医師会はたまたま看護学校を運営しています。看護学校の実習病院としても可児とうのう病院にお世話になっており、より充実した病院になっていくことによって、私たちの学校が成り立っているというような状況です。診療科で欠員等々がありますと、非常に困難をきたすわけで、ぜひとも充実をさせていただきたい。そして地域の医療をやがては担っていく子供たちを治療の中心として育て、総合診療医という方々の力を借りて地域医療を全うしていきたいと思います。ひとつ人材の育成についても、可児とうのう病院のご理解とご協力によって充実していくことを望みます。

⇒ 看護学校に関しは、他の学校からも実習の要請が毎年あります。何を望まれるかと言いますと、一番は小児科の実習ができないということです。具体的に申し上げますと、当院が可児市内では唯一の小児の入院施設をもっていますので、他の市外の施設からも、小児科の実習ができないため、小児科だけ実習を受け入れてほしいと、数年

前からあります。当院の現状は、定年を超えた者が一人常勤で頑張ってくれている状況ですので、個人の好意でやり続けているわけですが、本当に非常に深刻な問題ととらえています。数年前にも、新聞等で報道していただいたこともあります。やはりなかなか解決できる問題ではないので、そういった人的な問題ということが当院にとっては一番大きな課題です。JCHOに移って、いろいろ理想的なことを申し上げましたが、今まで抱えてきた課題がすぐに解決するわけではなくそのまま抱えて持ってきて、今後もずっと対応していかなくてはいけないので、そういった点では今まで以上に厳しい状況になっていますので、ぜひともみなさま方のお知恵やお力を拝借したいと思っております。

(行政・県)

- ② 4月に着任して非常に豊かな土地柄だと思いました。可児市は10万人という都市だが中心となる病院がない。そう考えると、可児とうのう病院は民間ではなくて公的な病院という立ち位置にあります。いろいろ課題はありますが、これからどうあっていくのか保健所としても県としても何とかお役に立ちたいと思っています。

(行政・市)

- ③ 市民のみなさんは、私たちの世代の上の人たちは懐かしい名前に戻ってきた。また、新しい形で再スタートしたことに感謝しております。

超高齢化に対応する在宅医療あるいは在宅介護ということが、非常に大きな課題になっていまして、国の介護制度も変わって、地方にお任せするということがかなり多くなって、今後もこういう傾向が強まるだろうと思います。国は国全体の制度を作りますが、それを受けて可児は可児の地域にあった包括ケアシステムを作っていくてはいけません。可児とうのう病院は、老健や訪問看護もあるので、病院としての機能に合わせて、在宅医療、在宅介護を支えていただくそういう病院になっていただくことを期待しております。

また、高齢化が進んでいて、ここは駅から近くて高齢者の方も通いやすく、非常に市民の期待も大きい病院です。そうした病院の医療と合わせて在宅介護、在宅看護そういったことも相談して、支援していただきたいと思えます。ネットワークをいかにして、特に高齢者にとって必要な分野の医療が提供できるような人材の確保もぜひご尽力いただけたらと思えます。

(利用者)

- ④ 私事ですが今年後期高齢者の76歳でございます。今まで大きな入院、1週間から3週間に渡る入院も3回ほどこの病院にお世話になりました。孫も子供も全部とは言いませんが、この病院で誕生いたしました。それからこの後期高齢者、自分自身がそうなのですが、これから病院もこういう責任、情勢に対応していかないと、どのような特徴のある対応の仕方をされるのか非常に興味を持っています。

(利用者)

- ⑤ 今回の機構変更によりまして、ますます中核病院としての発展と、さらなる機能の充実を願っている次第でございます。自治会役員3人を見ておわかりのように高齢者でございまして、ボランティアと、いざという時有事にお互いに助け合うということができないのではないかと、自治会といたしましても年2回は訓練を行っています。本日お聞きしたかったことは、年頭の辞にこの機構変更において、行政の関わりが強くなるのではないかと書かれていたが、どのような変化があるかわかれば教えていただきたいと思います。

⇒ 行政との関わりでという事でございますが、何が不自由かと申し上げますと、今までのように病院単位で決められなくなったということがいくつかあります。いろんな規程があって、これまで当然と思っていたことが禁止されている。そういった点では正式な公務員ではありませんが、みなし公務員という立場を取りますので、公務員と同じような考え方に則ってやらなければいけない。皆さんにとっては、どうして今までできたことができないのかと思われそうですが、こうして欲しいと思ったことが、わかりましたといってすぐにできなくなっています。

(利用者)

- ⑥ 風評というものが、病院の診療科に応じてまだまだ充実していないとの声が聞こえるが、これを少しでも早く可能な限り示していただくことが極めて大事ではないかと思えます。

⇒ これまで抱えてきた問題をずっと引き続きということで、当院の一番重要な問題は人員の問題であります。いつまでと言われてますが、引き続き努力します。具体的にいつまでとか言えません。先程の小児科のこともそうですが、答弁があいまいになり申し訳ないです。

2. 自由討議

(利用者)

- ① 市民公開講座が先日開催され、会場に入れないうらででした。旗振りがよければ人の集まりも良いものだなと思えました。これからもこのような機会を作っていただきたいと思っております。

⇒ 市民公開講座に関しましては、大変ご迷惑をおかけして失礼いたしました。広い会場を使用することは色々な意味で難しいことがあります。実際それだけ関心をもつ

ていただいていることは、この数年間こちらも頑張ってきた甲斐があったとは思っていますが、医師会長、可児市長さんたちのご協力の賜物と思っております。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

(医師会)

② 言いづらい話しですが、JCHOに変わって、院長以外は医師会のB会員と称しているが、社会保険病院時代はB会員がいらっしやったわけですが全員お辞めになった。お辞めになったから協力してもらえないとは思っていませんが、何とか勧めていただいて会員になっていただき、地域における色々な意味での医師会としての活動の分野にも関心をもっていただきたいと思いますと思っております。

⇒ これは当院だけでなく全国的な問題でありまして、現在、地区事務所に様々な話を持って行って、そこから本部に持っていかれたらなと思っております。全国的にそういう要望があれば何とか少しでも緩まないかと思っておりますが、他のことでも制限されているので、職員のモチベーションが上がらない。それが上がらないととてもじゃないと上質な医療の提供、期待する医療は提供できなくなってしまう。離職も止めないといけない。病院としては非常に重大な問題です。職員の不満というのがたくさんあるのも事実です。

(医師会)

③ この協議会をどのようにもっていかれようとしているのか。私はぜひ必要なものだと思います。病院はもちろん行政、医師会、一般住民の代表という間で協議会をもっているのは、可児とうのう病院さんが地域の中核病院、あるいは言葉をかえていうならば可児市の市民病院的存在であるということで、そういう協議会がなくてはいけないと私は思っている。私はそういった地域の方のされたことの、いろんな訴えもあり、あるいは地域からの訴えもあるはずなのでそういう声を集約する協議会をもつていただき、良いことだと思います。それが病院の発展につながることだと思います。

⇒ 今回はオリエンテーションのような形で説明だけに終わりましたが、次回からは、病院の経過と実績、今後の方針そういったことをお示しし、あるいはみなさま方からいろんなご提案を事前にいただきそれを議論したいと考えています。

今後のあり方として非常に事務的なことですが、規程(案)として出してはあります。(案)というのは、一度みなさん方に目を通していただいて不明な点がありましたら、意見をいただいて修正したいと思います。次回開催は、状況をみまして、遅くとも年内には通知して、議題を差し上げたいと思います。それまでに必要に応じて、何かこれは伺わないといけないとか、皆様からいろいろな議題がありましたら逐次やりたいと思っております。まずは、こういったことで、地元の方々と行政の方々に話

し合っていくことを念頭におきました。地域のみなさま方のためになっていけばと
考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(利用者)

④ 求人情報を折り込み等でみると、当求人案内が出ているが、これは契約、派遣が出
ているが、採用される場合の、資格要件、教育機関等でやっていますか。

⇒ 求人のところは、広告、ちらし等を使って出していますが、当院に入っている業者
が、派遣社員を募集していました。当院の名前も入っていましたが、他の病院も入っ
ていました。広域なところで募集をしているようです。資格だとかというのは、
この件に対しての業務委託であればこの業務、派遣であればこの仕様のところが出
来る方をということをお願いしているが、この資格を持った方だとかは事務の募集
に限ってはありません。

(終了 16:00)